

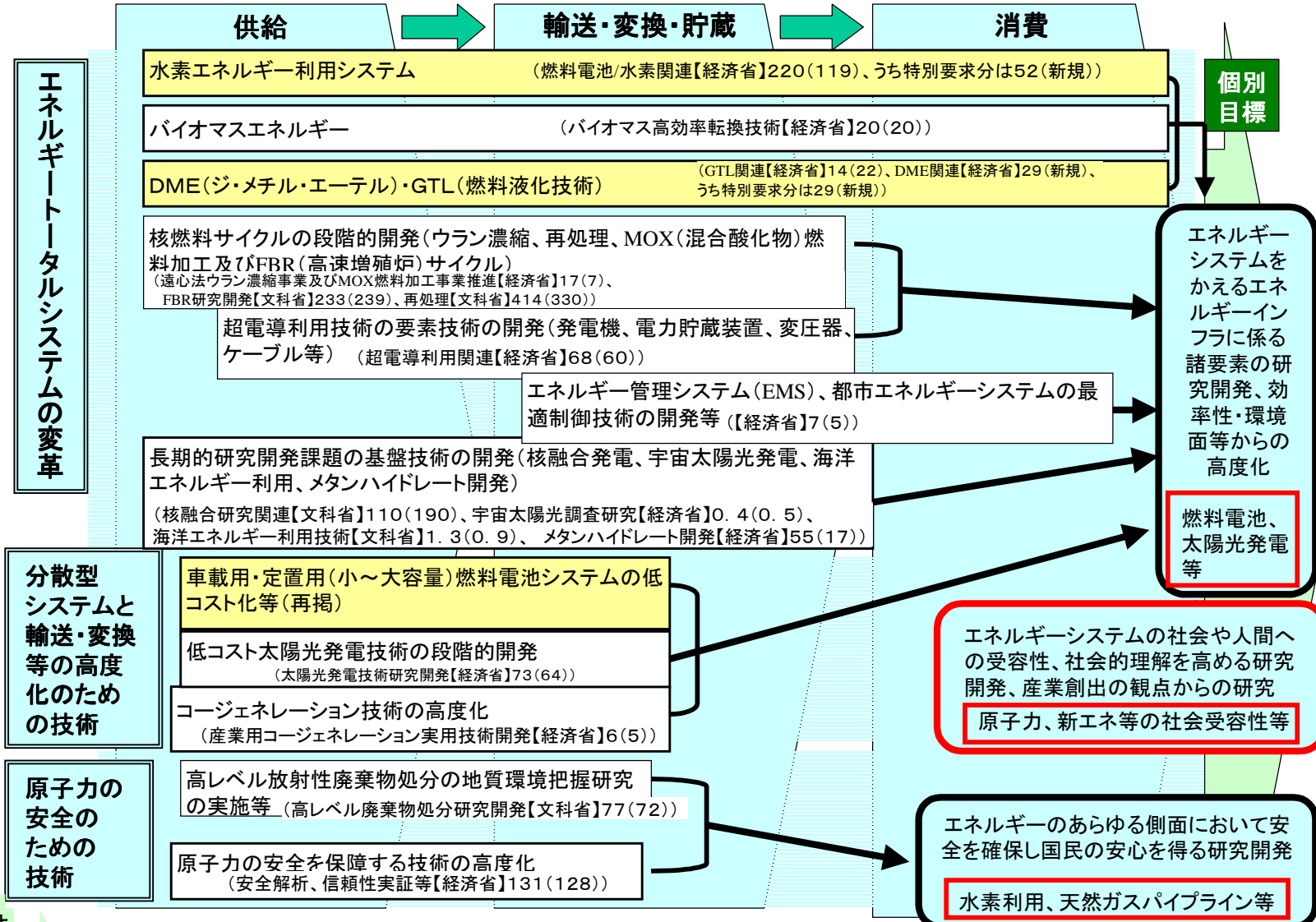
エネルギー分野の主な施策

注) は重点領域の項目、
 は具体的重点課題。うち、構造改革特別要求該当分は
 図中数字は14年度予算(億円)。括弧内は13年度予算。

エネルギー政策の目標は3Eの達成

- 重点化の視点**
- ① 将来の社会経済に適合するエネルギー源の多様化
 - ② エネルギーシステムの脱炭素化
 - ③ エネルギーシステムの効率化
 - ④ 基盤科学技術の充実

研究開発に当たっては、
 ① 安全・安心、
 ② 国際競争力、
 ③ 国際協力・貢献
 の視点への配慮が必要



推進方策

- 推進方策
- ① 発展途上国等へ移転可能な成果の創出、国際共同研究への参加等。
 - ② 社会的理解、導入・普及に関わる諸状況を踏まえた取組みと研究開発の評価。
 - ③ システム技術の効率的開発推進のための産学官の役割分担、連携。
 - ④ 省庁横断的課題についての省庁連携による効率的推進。
 - ⑤ 短、中、長期的研究開発課題の整合性ある取組み。
- 留意事項：人材の確保・育成。エネルギー利用、安全に係る教育の充実。

研究開発目標

3E(安定供給・環境保全・経済性)達成に向けた新たな技術オプションの提供

製造技術分野の主な施策

8月概算要求施策

構造改革特別要求施策

補正予算要求施策

H14予算(H13予算)単位:億円

重点領域・項目	機械	情報通信 電子・電気機器	材料 (鉄鋼、非鉄金属、化学)	バイオ・農林水産	医療	研究開発目標
<p>1 製造技術革新</p> <p>①IT高度利用</p> <p>②革新プロセス</p> <p>③品質管理・安全・メンテナンス技術</p>	<p>・デジタルマイスタープロジェクト(経済省) 24.5(29.4)</p> <p>・革新的鋳造シミュレーション技術(経済省) 3.6(4.1)</p> <p>・造船業のIT革命の推進による「ものづくり基盤技術」の高度化(国交省) 0.1(0)</p> <p>・建設機械の保守管理システム高度化のための損傷評価技術の開発(厚労省) 0.4(0.4)</p> <p>・人間・機械協調型作業システムの基礎的安全技術に関する研究(厚労省) 0.6(0)</p>	<p>・次世代半導体設計・製造技術共同研究施設整備(経済省) 315</p> <p>・低消費電力次世代ディスプレイ製造技術共同研究施設整備(経済省) 153</p> <p>・IMS(知的生産システム)国際共同研究プログラム(経済省) 13.4(14.2)</p> <p>・先端のデバイスプロセス装置技術開発(経済省) 5.8(6.3)</p> <p>・クラスターイオンビームプロセステクノロジー(経済省) 1.7(2.6)</p>	<p>・先端的ITによる技術情報統合化システムの構築による研究開発(文科省) 5.9(7.0)</p> <p>・革新的鋳造シミュレーション技術(経済省) 3.6(4.1) 再掲</p>	<p>・エネルギー使用合理化生物触媒等技術開発(経済省) 2.2(2.4)</p> <p>・リアルタイム生体ナノマシン観察技術開発(文科省) 1.0(1.3)</p>	<p>・ロボット機能発現のために必要な要素技術の開発(経済省) 1.0(0) 再掲</p>	<p>●グローバル展開の中での新時代の製造技術の競争力強化</p> <p>●世界的に競争力のある特徴ある製造プロセスの実現</p> <p>●継続して優位性確保</p>
<p>2 新規領域開拓</p> <p>①高付加価値製造技術</p> <p>②新規需要開拓</p>	<p>・人間協調・共存型ロボットシステム(経済省) 8.3(8.8)</p> <p>・相互作用と賢さ(文科省)[未定]</p>	<p>・多次元量子検出器の開発・応用研究(文科省) 0.9(0)</p> <p>・基盤技術開発費(文科省) 1.1(1.2)</p> <p>・ロボット機能発現のために必要な要素技術の開発(経済省) 1.0(0)</p> <p>・人間行動適型生活環境創出システム技術(経済省) 8.9(12.0)</p> <p>・大津局在フロン(文科省)[未定]</p> <p>・光ビームによる機能性材料加工創成技術(文科省)[未定]</p> <p>・超高密度フロン産業基盤技術開発(文科省)[未定]</p>	<p>・多過冷イオン(文科省)[未定]</p>	<p>・健康維持・増進のためのバイオテクノロジー基礎研究プログラム(経済省) 84.6(52.5)</p>	<p>・早期診断・短期回復のための高度診断・治療システムの開発(経済省) 16.8(17.2)</p> <p>・身体機能代替・修復システムの開発(経済省) 13.3(9.0)</p> <p>・高齢者等社会参加支援のためのシステム開発(経済省) 1.0(2.6)</p> <p>・健康寿命延伸に資する医療福祉機器開発のための基礎研究(経済省) 2.4(2.9)</p> <p>・国民の健康寿命延伸に資する医療機器・生活支援機器等の実用化開発(経済省) 3.5(4.8)</p> <p>・エネルギー使用合理化在宅福祉機器システム開発(経済省) 0.8(2.0)</p>	<p>●我が国でしかできない高付加価値製品の開拓</p> <p>●高度福祉社会に対応する医療・福祉用機器・ライフサイエンス対応技術等の製造技術基盤の確立および関連する知的基盤整備</p>
<p>3 環境負荷最小化技術</p> <p>①循環型社会形成に適応した生産システム</p> <p>②有害物質極小化技術</p> <p>③地球温暖化対策技術</p>	<p>・産業リサイクル過程における爆発火災災害の防止に関する研究(厚労省) 0.3(0)</p> <p>・エネルギー使用合理化工作機械(経済省) 1.8(2.7)</p>	<p>・電子・電気製品の部品などの再利用技術開発(経済省) 1.6(1.8)</p> <p>・SF6等に代替するガスを利用した電子デバイスクリーニングプロセスシステム(経済省) 3.7(4.0)</p> <p>・電子デバイス製造プロセスで使用するエッチングガスの代替ガス・システム及び代替プロセス技術研究開発(経済省) 15.0(12.5)</p> <p>・エネルギー使用合理化液晶デバイスプロセス技術開発(経済省) 7.8(8.8)</p> <p>・高効率次世代半導体製造システム技術開発(経済省) 6.8(7.2)</p>	<p>・次世代化学プロセス技術研究開発(経済省) 7.0(7.0)</p> <p>・超臨界流体利用環境負荷低減技術研究開発(経済省) 13.0(13.0)</p>	<p>・生物機能活用型循環産業システム創造プログラム(経済省) 51.7(18.2)</p> <p>・21世紀型農業機械等緊急開発事業(農水省) 10.7(12.1)</p> <p>・基礎・基盤研究(農水省) 2.7(2.7)</p> <p>・地域特産農作物機械開発促進事業(農水省) 0.6(0.8)</p> <p>・植物利用エネルギー使用合理化工業材料生産技術開発(経済省) 14.6(5.0)</p>	<p>・タンパク質科学及び医用工学研究による疾病・創薬等推進事業(厚労省) 20(20)</p>	<p>●廃棄物の減量化目標を達成するためのリデュース、リユース、リサイクル技術の実用化</p> <p>●製造工程、製品からの有害物質極小化、化学物質リスクミナム技術の実用化</p> <p>●京都議定書の目標実現</p>

重点化の考え方

- 安全の構築
- 国土の再生と Quality of Life (QOL) の向上
- 国際協力

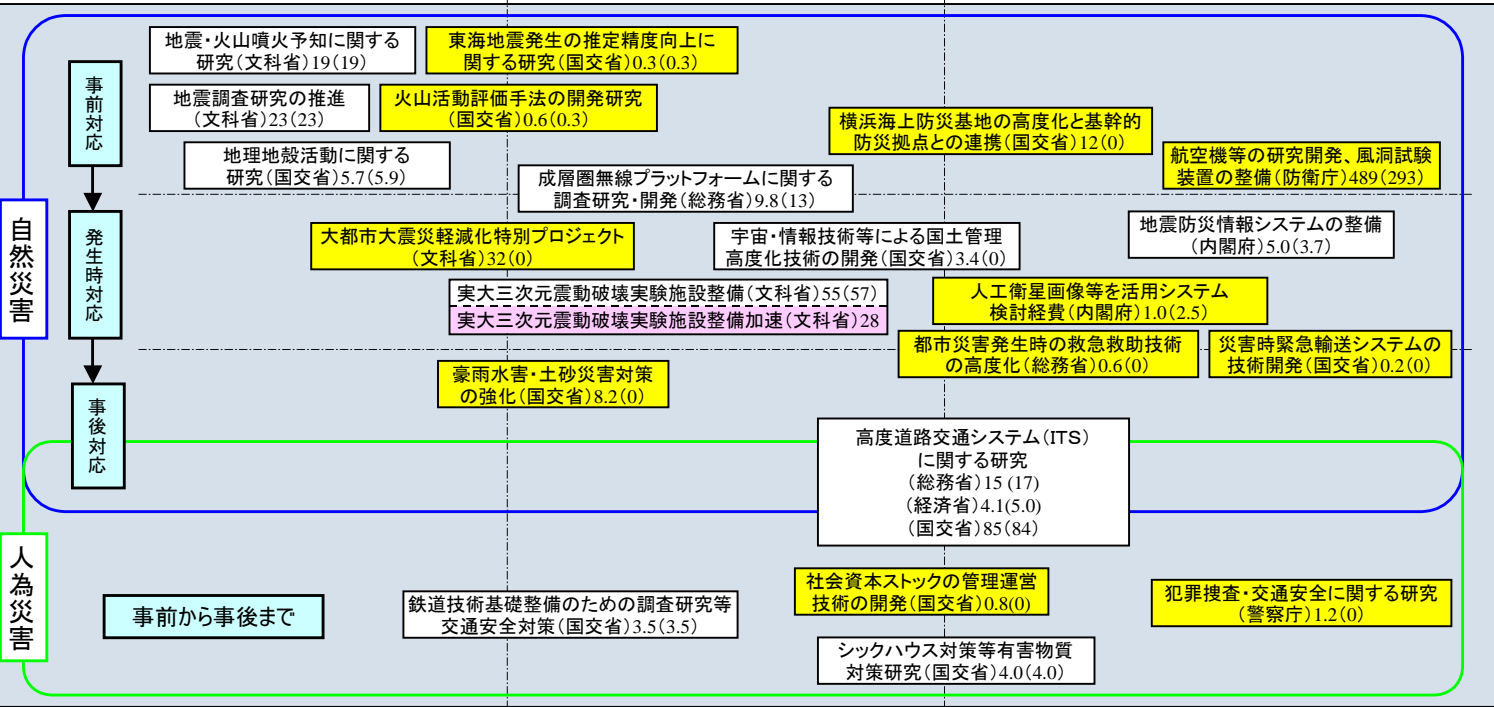
社会基盤分野の主な施策

注) はH14年度一般要求
 はH14年度構造改革特別要求
 はH13年度補正予算
 一部、類似の複数施策をまとめている。
 数字は予算額(単位: 億円、括弧内はH13年度当初予算)

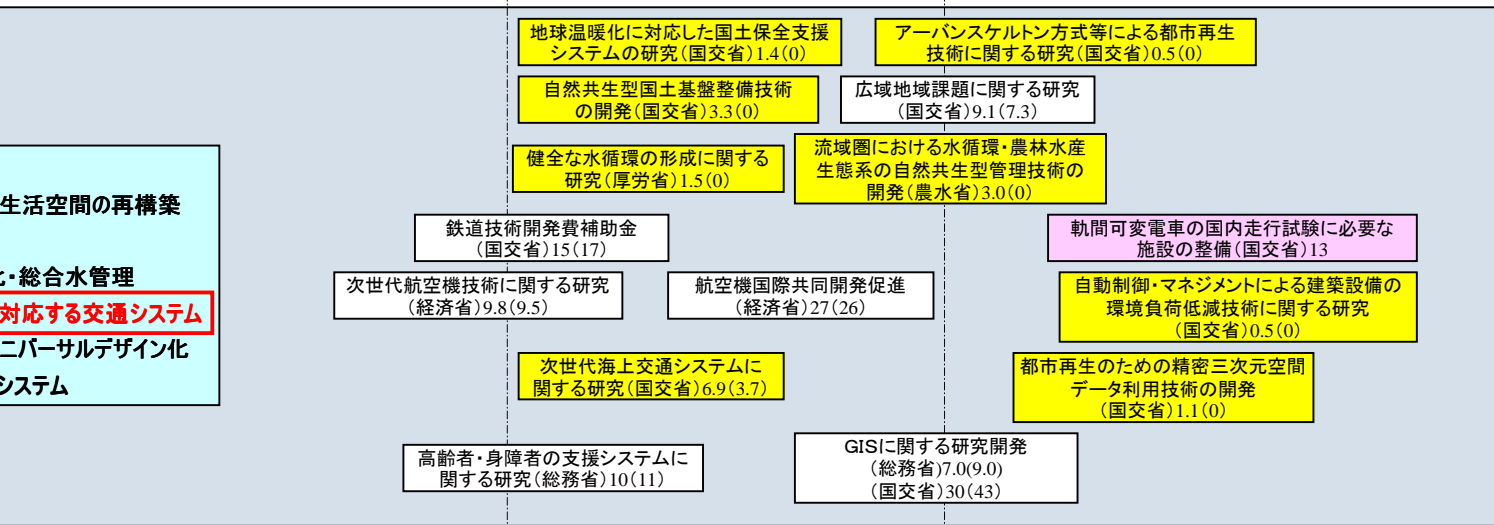


- 目標
- 国民の生命と財産の保護
- 開発途上国への国際貢献
- 国土の再生と生活の質の向上

- 安全の構築
- 【重点項目】**
- 異常自然現象発生メカニズム
 - 発災時即応システム
 - 過密都市圏での巨大災害軽減対策
 - 中枢機能及び文化財の防護システム
 - 超高度防災支援システム
 - 高度道路交通システム(ITS)
 - 陸上、海上および航空交通安全対策
 - 社会基盤の劣化対策
 - 有害危険物質・犯罪対応等安全対策



- 美しい日本の再生と生活の質の基盤創成
- 【重点項目】**
- 自然と共生した美しい生活空間の再構築
 - 広域地域課題
 - 流域水循環系健全化・総合水管理
 - 新しい人と物の流れに対応する交通システム
 - バリアフリーシステム・ユニバーサルデザイン化
 - 社会情報基盤技術・システム



フロンティア分野の主な施策

(一部を除き平成14年度予算において10億円以上のプロジェクト、単位億円)
 ()内は平成13年度予算、平成13年度補正分は当該年度分のみ記載

注) は一般要求
 は構造改革特別要求
 は平成13年度補正分

領域ないし項目

要素研究

開発

実証

利用研究

目標

安全
(セキュリティ)
の確保

世界市場
の開拓を
目指せる
技術革新

人類の
知的創造
への国際
貢献と国
際的地位
の確保

